

団体名	麻生プレーパークを創る会		活動年数	18 年
			メンバー数	世話人 10 名
活動紹介	活動場所	万福寺さとやま公園 体験広場／多摩美の森（麻生区市民健康の森） 万福寺檜山公園		
	活動日	月 4 回土曜と水曜にプレーパークを開催しています。 詳しい開催日と時間は、チラシや X をご確認ください。 (8 月は「あさぶれキャンプ」開催のためプレーパークはお休みです)		
	「麻生区の豊かな自然の中に、子ども達が思い切り遊べる遊び場（プレーパーク）が欲しい！」と平成 18 年 麻生市民館 市民自主企画事業で集まったメンバーで発足しました。 プレーパーク（冒険遊び場）とは以下のような場でありたいと活動しています。 「自分の責任で自由に遊べる場」 「自然の中で、作り替えの要素がある手作りの遊び場」 「いつ来ても誰がいる、地域の人たちも集うことのできる場」 「たかが遊び…」ではありません。子ども時代の豊かな遊び体験は、学び以上に人間力を育む礎になると思っています。プレーパークが学校や習い事以外の子どもたちの居場所となることを目指しています。			
遊ぶ子供たちの傍らに 温かい地域の眼差しを！				
2024 年度の トピックス	月 2 回のプレーパーク開催に加えて今年度から川崎市地域子ども・子育て活動支援助成事業として万福寺檜山公園で月 2 回水曜日に「外遊びの会」を始めました。乳幼児親子の外遊びを応援したい思いでいつもの公園にゆっくり過ごせる工夫をして遊んでいます。毎年恒例の「あさぶれキャンプ」も 4 泊 5 日で実施しました！			
課題	ノコギリや金槌を使う木工作や自然の中での遊具作りには遊びと危機管理についての専門知識を持つプレーワーカーの存在が必要になります。継続した活動にはプレーワーカー雇用のための経費捻出が常に課題。活動の財源は、助成金の受給・炊出しの売上・応援カンパ金・会費等なので常に不安定。活動を続けて 18 年継続した課題です。			
参加上の 案内	■運営・ボランティアスタッフ募集中！ 子育てや地域の仲間づくりに、一緒に遊び場を創ってくださる方を募集しています。 外遊び、子どもとの関わり、自然遊びに興味・経験のある方は是非！！ 下記連絡先か、プレーパーク開催時に直接お越しください。 ■寄付、応援カンパ 常に募集中！！ 活動の継続にプレーワーカー雇用と道具や材料代が必要です。 応援カンパ よろしくお願ひします。 ■地元企業の皆様！！ あさぶれのスポンサーになってください。			
代表者 & 連絡先	名前 塚田 五月 住所 川崎市麻生区千代ヶ丘 電話 090-5588-9320 プレーパーク開催日は X（旧 Tw itter） 「あさぶれ（公式）」で検索			

団体名	ふらっと新百合ヶ丘		活動年数	8 年
			メンバー数	5 名とサポート
活 動 紹 介	活動場所	麻生こども菜園 会場：支え合いファーム（麻生区栗木 3-6-20）		
		つながる朝市 会場：カナドコロ（麻生区金程 4-3-1）夏・冬開催予定		
		ふらっとリビング 会場：Café&Space L.D.K.（麻生区栗平 2-1-6）		
	活動を始めた背景や内容			
麻生こども菜園・・・小規模多機能支え合いのご協力により、小さな菜園で麻生区に住む約 15 家族と野菜を育てています。年 2 回募集をしており、夏野菜、冬野菜を作っています。LINE やメールにてお問い合わせください。 ふらっとリビング（子ども食堂）・・・多世代交流居場所作りとして、毎月第二水曜の 15 時半より栗平で活動。食育ワークショップをして遊んでいます。LINE やホームページでお問い合わせください。サポートメンバーも募集しています。				
				
農園収穫体験・・・麻生区農家さんの畑へ行って、親子で収穫体験や食事をしています。2024 年は枝豆の種まきのお手伝い、のらぼう菜のお片付けのお手伝い、ブルーベリー収穫体験など。栗の木ファームさんにご協力いただきました。				
				
つながる朝市・・・金程にあるカナドコロで開催。野菜販売や地元野菜を使ったお料理の販売。子供が楽しめるワークショップなどを 7 月と 12 月に開催予定。				
				
課題	ふらっとリビングでは、食育の一貫で食事やワークショップ活動をしています。ぜひ毎月第二水曜にお料理を作れる方、子どもと遊びたい方を募集しています！			
参加上の案内	ふらっとリビングでは、地元の野菜を通して楽しい活動をしています。食事を作るお手伝い、子どもと楽しく遊べる方など募集中！ ■ 一緒に活動できるスタッフを募集しています 興味のある方は下記または右記の LINE へご連絡ください。 →LINE 			
連絡先	名前 中村ふみよ ※ぜひ HP や Facebook で《ふらっと新百合ヶ丘》を検索！ 電話 070-8593-1287 E-mail：flatshinyuri@gmail.com ホームページ https://shin-yuri.jimdo.com/			

団体名	い あさお生きごみ隊		活動年数	19 年6ヶ月
			会員数	11 名
活 動 紹 介	活動場所	麻生区古沢の畑		
	活動日	毎週 木 曜日 他		
	農家とつなぐ家庭生ごみリサイクル			
	●目的			
	① 家庭の生ごみを堆肥化し、ごみの減量を推進する。 ② 農家の畑をお借りして生ごみ堆肥を使った野菜作りを行い、農業への理解を深める。 ③ 生ごみ堆肥で野菜を栽培し、その野菜を食し、出ってしまった生ごみを堆肥とする。 この資源循環の輪を作りつつ、豊かな自然と農を守る。			
●活動内容				
① 農家鈴木家のご協力により2005 年活動を開始した。それぞれの家庭で容器に生ごみにボカシをふりかけ、保管し、堆肥小屋に持ち寄り、種堆肥に混ぜ合わせ、熟成させる。 ② 2016 年度から、容器に保管した生ごみを直接畑の土に混ぜ熟成させる「土ごと発酵」も行っている。 ③ 鈴木家の畑を借りて野菜を栽培しているが、どちらの方法でも、生ごみ堆肥としての効果を確認した。 ④ 野菜栽培は、全て無農薬・無化学肥料による。2024 年には、ジャガイモ、タマネギ、ミニトマト、シシトウ、サツマイモ、ミニダイコンなど栽培し、収穫した。				
				
		(サツマイモ2024 年11 月)		(タマネギ2024 年6 月)
課題	活動の継続と拡大			
参加の案内	●会員募集中（家庭の生ごみを運んでくることができる方、野菜栽培に興味がある方） ●家庭生ごみ堆肥を受け入れます。 関心のある方は下記連絡先へご連絡ください。			
代表者	山崎 優 住所〒215 -0006 麻生区金程1-10-6 電話 966-4438 FAX 966-4483			
連絡先	奥山玲子 住所〒215-0014 麻生区白山1-2-3-104 電話 987-7335 FAX 987-7335			

団体名	森もりクラブ		活動年数	21 年
			メンバー数	42 人
活動紹介・活動内容	活動場所	向原の里特別緑地保全地区・向原南緑地（通称くじらの森）11ha 向原北緑地・向原緑地 10ha 麻生区向原2丁目4他		
	活動日	定例活動日 第2土曜日9：30～15：00まで（雨天時翌週の日曜日）		
	活動を始めた背景・・・地域住民による行政へのはたらきかけと川崎市の支援により、向原の里保全地区の保全が決定されたことで、2004 年 2 月に発足した団体。今年21 年を迎える。 1.森の生き物 が元気になる森づくり 森で生育・生息している植物や野鳥、昆虫、哺乳類などの動物がイキいきと生活できる森づくりを行います。 2.森もりクラブ が元気になる森づくり 活気ある活動を持続的に行うことで、会員同士のコミュニケーションや団結を深めることのできる森づくりを行います。 みんなが元気になる森づくり 3.地域 が元気になる森づくり 森を通じて地域全体が元気になる森づくりを行う。また、森の歴史や文化的価値を感じ取り、共に生きる森づくりを行います。 4.子ども が元気になる森づくり くじらの森を次の世代へとつないでいくために、現在の子どもたちが興味を持って活動できる森づくりを行います。 ・ 年 1 回の総会で年間計画を策定し各班を中心にメンバー全員で活動する。 ・ 管理活動班→緑地の管理計画とその実施 ・ 植生管理班→管理活動計画の提案・調査分析・植物観察 ・ ネットワーク班（情報収集と発信）→地域や他の団体との交流・里山歩き・勉強会 ・ 森もりフェスタ・金程小学校総合学習・金小フェスティバル ・ 森もり便り年4回の発行 * <u>ナラ枯れによるクヌギ、コナラの大木の伐木</u>。椎茸のほだぎなどへの活用 * アカマツ林の再生への見守り、キンランなどの希少植物の保護 * クヌギ、コナラの種子の発芽の試み2023 年より継続中 * 定期的な下草刈りの実施と植生の多様性の推進 * 竹林の管理と利用→七タの笹、金小フェスタなどへの利用 * 椎茸の収穫 * 森もりフェスタ・金程小学校総合学習・金小ふれあいフェスティバル・タケノコ掘り・七タの笹の地域住民への配布・生田緑地里山展示 W S への参加 * 森もり便りの発行→春号、夏号、秋号、冬号 * 植物観察会 ナラ枯れ対策と木の伐木、伐木した木の利用 ・ 住宅地と共存できる生物多様性豊かな雑木林の再生と維持 ・ 管理活動だけではなく、様々な活動に参加可能なメンバーの確保			
* 2024 年度のトピックス				
課題				

2024 年の活動

総合学習（1月）



キンランの植生調査(4月)



たくさん伐木しました！



金小ふれあいフェスティバル



里山フォーラム(2月)



向原緑地のタケノコ掘り(4月)



森もりフェスタ(12月)



足跡！ ためき！



シイタケの駒打ち(3月)



里山歩き夢見が崎動物公園 加瀬山の会(6月)



生田緑地里山展示 WS(11月)

キンランエリア柵作り(12月)



参加上 の 案内

- ・体験参加募集中(道具などは用意します)
- ・チェーンソーによる大木の伐木に興味のある方
- ・**会員募集中です**(年会費 1000 円) 作業日にお声をかけてくださるか、下記へご連絡ください。

代表者

名前 海野 芳彦

電話 080-5452-1180

E-mail prs_yoshihiko@hotmail.co.jp

連絡先

名前 宇野 順子

電話 080-1049-8715

E-mail unouno831@yahoo.co.jp

FAX 044-954-5303

団体名	柿生の里クラブ		活動年数	15 年
			メンバー数	33 人
活動紹介	活動場所	柿生の里特別緑地保全地区（上麻生 7 丁目 6 番、7 番）		
	活動日	定例活動日 第 2 日曜日・第 4 水曜日 9：30～12：00 頃 お互いに連絡を取り合い随意、随時の活動も多い		
【案内】	柿生駅から徒歩 10 分、浄慶寺隣接の面積 19, 0 0 0 m ² の緑地です。			
【動機】	2009 年「柿生の里特別緑地保全地区」が都市計画決定され「おっ越し山ふれあいの森」から連続した多摩丘陵の尾根筋のコアとなる場所が残され、「柿生の里散歩道」上の貴重な場所となりました。2010 年3月ここを「未来へ手渡す豊かな多摩丘陵」として保全していこう！と「柿生の里クラブ」が誕生しました。			
【内容】	『地域の自然・歴史・文化を活かした昔ながらの里山の再生』を目指しています。 《 昔ながらの植生、谷戸地形を大切にしながら、土地の記憶を紐解く 》 その昔ここが大きな農家(屋号:大谷オオヤト)の屋敷だった頃の佇まいを今に伝える風景と、次の所有者の植林木や庭の樹々を調査し、この緑地が歩んできた土地の記憶を紐解き、公共緑地としてどのような作業が適切なのか、次世代にどうつないでいくかを見極めて行きたい。 《 動植物の復活と多様性を目指した作業 - 生態系の保全と育み 》 柿生の街中の自然ですが、野鳥、昆虫、植物など生き物が賑わっています。 動植物の記録を取りながら ・アズマネザサ,クマザサなどの下草刈り ・モウソウチクの除伐,間伐 ・樹木の間伐 ・外来雑草の除去 ・落葉で腐葉土作り ・湿性地の保全 ・植物の名札付けと保護 ・庭園木の保全 池(人工)の保全などを行っています。 《 体験学習・環境学習の場として ― 次世代への継承 》 里山フォーラム in 麻生と協働で「あさお里山こどもクラブ」、「里地里山ナチュラリスト養成講座」を開催しています。「里山こどもクラブ」の体験学習用畑では資源循環の一貫として腐葉土や灰を入れ込みながら山から畑への土づくりをしつつ、「大麦・小麦」、「万福寺人参」、「サツマイモ」などを栽培。 《 定例活動日などには、緑地の見学・自然観察を歓迎しています 》 ・川崎市環境功労者賞 ・「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰			
2024 年度のトピックス	＊ 看板を制作し表玄関前に設置しました。 ＊ 若い方の会員が増えました！ 小学生も 3 名参加になりました。 ＊ 柿生小学校 5 年生が四季を通して自然体験学習をしました。 ＊ 川崎市市制 100 周年記念市政功労賞を受賞。 ＊ ヤマユリの丘、ニリンソウ群落地など貴重種の保全作業を継続。 ＊ 枯死木、危険木、倒木が多く対応に追われました。 ＊ 会の公式 facebook に定例活動の様子掲載を更新しています。 ＊ 富士フイルムビジネスイノベーション KK の 端数倶楽部から寄付を頂きました。			
課題	■森の安全確保への手立て 安全に作業や体験学習ができるようにしたい。 ■庭木の剪定（森の作業で手一杯です。梅、椿、松 etc） 禅寺丸柿の古木 4 本の保全 ■当初の四ツ目垣の復活（現行の綱では防犯上危ない） 【要：行政との協働・支援】			

〈 緑地を植生のゾーンで把握し作業計画 〉

【柿生の里クラブ 活動の様子】



〔柿生小 5 年 総合学習-柿生の自然体験学習〕
 筍掘り 落ち葉かき



〔里山こどもクラブ〕
 遊ぶうパン用竹の準備 のこぎり体験の説明



〔危険木伐採〕 調査 業者による伐採に立ち会い
 〔危険木伐採〕 〔倒木の玉切り、片付け〕



賞状とクリスタルの盾を持ってみんなでパチリ



緑化フェアに参加



〔下草刈り〕

〔竹の間伐、除伐、片付け〕

参加上の案内	■体験ボランティア募集中（道具などは用意してます） ■寄付などを受付中 ■会員募集中（年会費 500 円） 作業日にお声かけくださるか、下記へご連絡ください。
代表者 副代表 副代表	石井よし子 TEL 070-6426-6123 E-mail ishiiyoshiko.works@gmail.com 雛倉 正人 TEL 090-1215-0979 E-mail GZL12435@nifty.com 高橋 靖 TEL 090-4398-5513 E-mail otmariners@gmail.com

団体名	まちはミュージアムー遊歩道ファンクラブ (管理運営協議会 おっ越し山クラブ)		活動年数	26.5 年
			メンバー数	10 人
背景	活動場所	おっ越し山とその周辺および (柿生の里特別緑地保全地区)		
	活動日	定例活動 第 1 水曜日、第 3 水曜日 (第 2 日曜日、第 4 水曜日) ほか随時		
	「おっ越し山ふれあいの森」は、1995(平成 7)年に自然環境保全地域に指定され、「柿生の里の散歩道」の丘陵への入口となった。 1. 麻生区初の遊歩道「柿生の里の散歩道」の自然と歴史を次世代に繋ぎたい。 2. 都市開発が進み地形の改変が顕著になり、多摩丘陵としての暮らしの原風景が消えて行く中で、「おっ越し山ふれあいの森」がご寄付で残されたことに感謝したい。 3. 地域に残されたおっ越し山であったが、アズマネザサとヒサカキに覆われ暗い森になっていて、子どもたちにも親しまれていない状況を何とかしたい。 4. 麻生地域セミナー 1990-1997(街かど探偵団～まちはミュージアム)で横浜市の舞岡公園での市民の関わり、多摩市の桜ヶ丘公園雑木林ファンクラブの活動などを現地で学び、また「麻生区で子どもが遊べる公園を考える会」の長年の活動を経ていた。 5. 川崎市という公共の土地に将来にわたり身の丈で責任が持てる所を考えたい。 などの思いが、仲間の賛同と協働を得て 1998(平成 10)年 9 月活動開始。			
活動内容	2001(平成 13)年 3 月に策定された「おっ越し山の森づくり保全管理計画書」に基づき活動を継続。【■もともとあった里山に近づける ■緑のネットワーク ■循環利用 ■歴史性を再現する】おっ越し山でご縁を繋いだ方の民有地が柿生の里特別緑地保全地区となる。 森づくり ヒサカキの間伐、アズマネザサの草刈りを今もなお継続している。 場づくり 小さな広場が 4 か所あるが、ベンチのなかった 2 ヶ所に柿生の里の孟宗竹でベンチを作ったところ、みんながホッと休憩する場所となった。人の手が入っているという安心感も醸成されたようで、ごみが減少し、いたずらも減った。そして私たちには通りすがりではない「まちの当事者」としての意識が高まった。 花壇づくり 入口部分は草木も生えない瓦礫埋め立て場所であった。瓦礫を撤去し落葉の堆肥を入れながら土を作り、野の花花壇にした所、道行く人との会話が弾む。カラムシ、ジュズダマも保全し環境学習に役立てている。 自然の復活 適度なお世話をすると自然からの贈り物があることを体験し作業継続の力となる。自生のヤマユリが多く復活しキンラン、ギンラン、キバナアキギリ、シュンラン、オカトラノオ、ヤマホトトギスなどを楽しむ。 活動資金を得たことで 2001 年都市緑化基金に応募し「第 1 回花王みんなの森づくり活動助成団体」に選定された。里山活動をしていくための道具や倉庫の購入が出来、看板を作って地域への広報が可能になった。また里山フォーラム in 麻生を立上げてみようという力になり、麻生市民館に提案し現在に至っている。 励みとなった賞 ・川崎市環境功労者賞 ・麻生区花と緑のコンクール奨励賞 ・神奈川県自然保護功労者賞(2011 年) ・みどりの愛護功労者国土交通大臣賞(2014 年)			
2024 年度のトピックス	・コナラの苗木を植え、実生を保全をしました。 ・近くの保育園の子どもたちの散歩や遊び場となっています。 ・残置されていたナラ枯れの丸太を少しずつ片付け始めました。 ・初めてキバナアキギリがほとんど咲きませんでした。			



何もなかった場所にベンチ、腐葉土置場、倉庫、納屋が並ぶ小さな広場に。アズマネザサに覆われていた斜面には山野草が復活。手作り看板、野の花壇でホッ。



冬の日本ズイセンからラッパズイセンに替わる春に小学生が楽しく草取り



苗木を植え、実生を育て、雑木林の復活を待つ



市街化区域に残された「緑の小舟」 柿生の歴史環境保全地域ともいえる場所 次世代につなごう

至 麻生不動院

至 月読神社

上麻生仲村
特別緑地保全地区

上麻生第六天緑地

王禅寺源内谷
南公園

柿生の里特別緑地保全地区

王禅寺源内谷緑地

浄慶寺緑の保全地域

浄慶寺

上麻生仲村東
特別緑地保全地区

柿生の里散歩道
-尾根道-

おっ越し山ふれあいの森

柿生
トンネル跡

東林寺

柿生中学校

至 柿生駅

尾根道は中世の山城を結ぶ道
畑へ通う道
通勤、通学、生活道路
歴史をたどる道
みどりをつなぐ道



課題	・地域へ働きかけて、老若男女がホッとする場として繋ぐための人材を募集する。 ・実生を育て、雑木林の復活を目指す。 ・山野草を絶やさず、増やすことに努める。
参加上の案内	■ 会員募集 ■ 体験ボランティア募集 ■ 寄付歓迎 作業日にお声かけくださるか、下記へご連絡ください。
代表者 チーフ	石井よし子 TEL 070-6426-6123 E-mail ishiiyoshiko.works@gmail.com 瀧孔一郎 TEL 090-9235-1214 上條正雄 TEL&FAX 044-989-8751 石井信 高部由美子 清水眞子 宮河悦子 植田聡子

団体名	花と市民参加の会 “コスモス”		活動年数	29 年			
			メンバー数	13 名			
活動紹介	活動場所	川崎市麻生区白山 4-6 地先 白山 3 号線 (白山西緑地脇) (むじなが池公園北側の一方通行道路沿い)					
	活動日	定期活動、月 1 回 (第 2 火曜日午後) 自主活動随時					
	400m の一方通行道路で、ケヤキの植え込み、歩道脇緑地を花壇にして草刈り、種まき、水やり 清掃などをして季節ごとの管理をしています。 この道路は元々雑草の生い茂る暗い道で、粗大ごみの不法投棄もあり治安上も不安な場所でした。当団体を結成する 10 年前から 5～6 人の有志で活動していましたが、行政と連携して活動するために 14 年 9 月 花と市民参加の会”コスモス”を結成しました。 400m と長い活動地域なので 4 ブロックに分けグループごとにエリアと担当して活動しています。 現在、年々草花が根付いてきて景観が整ってきたことにより、散歩やジョギングのコースとして写真の撮影スポットとして近隣の方々に親しまれています。						
2023 年度のトピックス	日本映画大学の学生さんの授業課題作品作成の対象としてコスモスの活動が取り上げられ撮影が行われました。 例年行っている、ケヤキの落ち葉清掃回収ですが、川崎授産学園さんに回収していただいています。腐葉土にしてもらって花壇に培養土として利用しています。						
課題	水道がないので、夏の水やりなどが大変苦労しています。 ケヤキの根元の堅い土壌の改良 参加者の固定化、高齢化						
参加上の案内	☒ 会員募集中 ☒ 体験参加者募集中 (受入れ態勢あり) ☒ 寄付金などの受付中 興味のある方は下記へご連絡ください。						
代表者	名前	吉村利子	住所	〒215-0014 川崎市麻生区白山 5-1-8-206			
	電話	986-9475					
連絡先	名前	川名慶子	住所	〒215-0014 麻生区白山 4-5-1-404			
	電話	090-6158-636					

2024 年花と市民参加の会 “コスモス”



4/16

川崎授産学園から
腐葉土搬入作業



6/11

道路公園センター職員との
現地交流 話し合い

6/25

日本映画大学の学生さんと顔合せ



11/5

黒土搬入
花苗搬入 植え付け



団体名	吹込クローバーの会		活動年数	14 年			
			メンバー数	15 名			
活動紹介	活動場所	麻生区上麻生 4 丁目 尻手黒川線 吹込交差点花壇と緑地帯 (274 m ²)					
	活動日	隔週土曜日 2時から & 天候により随時メール発信					
	【活動を始めた背景】 吹込花壇は川崎市による「緑の景観づくり推進事業、王禅寺地域のみどりの軸線づくり」として 2004 年度に整備され、2009 年から一部の花壇で生ごみ堆肥による実験栽培を始めました。従来手入れされていたグループが解散しましたので「木こりの会」女子 4 名 が中心となり、2011 年 4 月に「吹込クローバーの会」を結成しました。 【活動内容】 生ごみ堆肥を活用し、無農薬、無化学肥料で管理する安心、安全な花壇づくり 鶴亀松公園の大きな緑から白山むじなが池の緑につながる小さな緑として緑の回廊と蝶の幼虫の餌になるパセリや蜜源になる花を植えて楽しい花壇を目指します。						
	  循環型花壇作りを進めるため、抜いた苗を堆肥化するための木枠コンポストを設置。切り返して良い土になり、再利用します。						
2024 年度のトピックス	宿根草を増やし、植替えの量を減らしていますが、それでも植替え時に発生する抜いた花苗をご近所の方や他の花壇グループに再利用してもらうことができました。 2024 年度の「わがまちかわさき花と緑のコンクール」に応募 川崎市制 100 周年とコンクール 20 回の記念特別賞を受賞しました。						
課題	日々の活動は花壇だけでなく敷地内の 200 m²の植栽帯の管理も行っているのでメンバーが増えること。						
参加上の案内	☐ 隔週土曜日（第 2、第 4）2 時から ☐ どなたでも参加できます 興味のある方は下記へご連絡ください。						
代表者	名前 阿部 貴紅子 E-mail 8kk1a1a-19721@ezweb.ne.jp						
連絡先	同上						

団体名	虹ヶ丘おやじの会		活動年数	25年
			メンバー数	17名
活動紹介	活動場所	虹ヶ丘公園		
	活動日	毎月第2週、第4週		
	活動を始めた背景			
	1998年に虹ヶ丘コミュニティルームを開設し地域の男性達が「飲み会」を機会に「地域にできる事を」と翌年公園の清掃活動を始め、街路樹、花壇作りや手入れなど始めた。			
2024年度のトピックス	活動内容			
	例年通り地域安全、安心をテーマを掲げ公園内の低木、草刈り、高木の伐採等活動をしています。			
	2年前に、地域仲間になった若手2名も、今では大変、会の原動力です。			
	作業器具の使い方も熟知し安心して、作業をまかせています。			
課題	来年度は、会の継続をお願いし、世代交代を考えております。			
	虹ヶ丘小学校全校生徒さんと、公園一斉美化活動で清掃をいたしました。			
	平日に関わらず、地域のPTCA 保護者の参加もあり、公園が大変きれいになりました。			
	市政100周年記念事業「学校e〜ね☆サミット」2023年おやじの会との作業風景がA1サイズのポスターになり、昨年市内小中学校に配布され、おやじの会として、うれしくなりました。			
参加上の案内	来年度も活動を継続します。			
	毎年課題になっている、公園内の桜の立ち枯れが、年々増加している状態です。			
	市内どこの公園も、同じ状態とおもいます。			
	（桜は地域住民にとって、憩いの場所です。）			
代表者	おやじの会も創立25年経過しました。高齢者が中心です昨年1名女性の入会がありました。短期でありましたけど、都合で引っ越しされました。			
	まだまだ、会員を増やしたいところです。			
連絡先	ホームページをご覧ください。https://niggaoka-oyajim.dofree.com/			
代表者	名前 佐々木 昭男	住所 麻生区虹ヶ丘3-1-406		
	電話 987-0894	E-mail : sasagcy@nifty.com		
連絡先	名前 児玉 俊臣	住所 麻生区虹ヶ丘1-3-1		
	電話 986-9155	E-mail : nbyaj@com.ne.jp		

施設名	就労継続支援 B 型事業所 があでん・ららら		活動年数	29 年
			メンバー数	約 30 人
活動紹介	活動場所	下記住所地		
	活動日	があでん・ららら(月～金) 喫茶店「ハーブカフェ ららら」(木・金)		
	活動を始めた背景 があでん・らららは、精神障がいのある方が利用する就労継続支援 B 型の事業所です。精神障がいのある人が自らの望む暮らしを実現するために、平成 8 年 4 月に、市民団体「ASA O 健康井戸端会議」が、園芸農家から温室と家屋を借り、多くの地元ボランティアの支援を受けてスタートしました。現在は「社会福祉法人 SKY かわさき」が引継いでいます。			
	活動内容 働きたい、就労したいという利用者それぞれの目的に合わせて、ハーブティー製造、焼き菓子製造、園芸、クラフト製品づくり、喫茶店業を通して仕事の提供や訓練をおこなっております。 また、イベントや喫茶店「ハーブカフェ ららら」を通して地域の人々と触れ合いながら、地域に根差した活動に取り組んでいます。			
2024 年度のトピックス	今年度は、があでん・ららら主催のイベント「ハーブまつり」を 5 年ぶりに開催することが出来ました。ボランティアの皆様や出展者の皆様のご協力もあり、約 500 名の方にご来場頂きました。皆で協力し準備したイベントが大盛況のうちに終わる事が出来、喜ばしい限りとなりました。			
課題	「があでん・ららら」の活動を通して、精神障がいのある人が自ら望む暮らしを実現するため、人と人がつながりあえるように地域の皆さんと一緒に検討していきたいと考えています。			
参加上の案内	園芸や配達など、ボランティアでお力添え頂ける方を募集しております 興味のある方は下記へご連絡ください。			
代表者	名前 金森孝之			
連絡先	名前 があでん・ららら 住所 〒215-0022 川崎市麻生区下麻生 3-32-5 電話 044-989-8323 FAX 044-322-8637 ホームページ https://www.sky1995.com/shop/cafe.html Instagram @herbcafe_lala			



団 体 名	早野聖地公園里山ボランティア		活動年数	26 年
			メンバー数	71 名
活 動 紹 介	活動場所	麻生区早野 早野聖地公園内 炭焼き小屋周辺		
	活動日	毎月第1・3・5 土曜日、ただし炭焼き期間(12月～1月)は毎週土曜日		
	活動を始めた背景			
	川崎市で里山ボランティア募集を始めた第1号の里山ボランティア団体です。			
	活動方針			
	里山を将来にわたり、保全・管理し、地域振興と早野の文化を継承していき、人と自然との共生を図る。			
	活動内容（*印＝紹介カードー2に活動写真あり）			
	1.里山再生＝伐って育てる森（里山の若返り）⇒生物多様性の向上を図る。			
	ナラ枯れ対策＝優先順位（落枝・倒木防止による事故防止のため）をつけて通路側・林地内がほぼ完了、			
	*下草刈り・篠竹刈り、清掃、苗木の育成と*植樹・萌芽更新等で里山の若返りを図る。循環利用（炭焼き・キノコ類栽培）湿地帯の管理、動植物の保護、昆虫類の寝床（冬眠）・繁殖地の確保			
2.炭焼き（伐採材の活用）循環利用⇔SDGsの積極的な参加と炭素の固定化実施				
原木の伐採～*炭焼き（竹炭含む）、炭を利用したの湿地帯水質浄化、*トイレの消臭剤として利用、苗圃・畑の土壌改良、				
・毎年炭焼きを実施、年間に炭素(C)を1000Kg 以上固定化し地球温暖化防止に努めています。				
3.農業体験				
畑・花壇の手入れ、*サツマイモ、ジャガイモ、*椎茸・ナメコの栽培、大規模ナノハナ畑＝作成				
4.地域とのふれあい				
1. 各種支援＝東柿生小、*虹ヶ丘小、逗子開成中・高等学校＝たたら製鉄用炭の提供、幸チャレンジクラブ、*川崎区＝西大島ルーテル保育園、東京農業大学GA講座の支援・交流会、緑化フェア＝樹木類貸し出し(*等々力緑地会場)、やさちいきのひろば＝7区分（スギ類の提供＝ノギリ体験）冬の自然を楽しむ会				
2. 出展＝*第42回あさお区民まつり、*ネクサスチャレンジパーク（NCP）早野へ各種支援、*緑化フェア（*等々力緑地・生田緑地会場）、 里山フォーラム in 麻生 など				
3. 企画 夏の感謝祭＝外部参加者37名、お彼岸バザー×春秋2回				
2024年度のトピックス	東柿生小＝竹の伐採体験・里山学習・卒業植樹、*虹ヶ丘小＝苗の植付～サツマイモ掘り・*トイレの消臭炭の提供、幸チャレンジクラブ＝出前授業と現地見学、やさちいきのひろば＝7区へ木材支援 *西大島ルーテル保育園＝炭窯内見学・薪割りと植樹体験、*出展活動＝緑化フェア、*NCP 早野など			
課 題	特になし 会員の高齢化に伴い作業の機械化を進めており、活動日を楽しく作業会員も増加傾向です			
参加上の案内	会員募集中 入会受付＝活動日に直接現地（炭焼き小屋）にお越し下さい。 年会費＝1000円 活動時間＝9；45～15；00 ☒ 会員募集中 ☒ 里山体験・見学など			
検 索	かわかきSDGs ポータル ⇒ 早野聖地公園 / 麻生区 炭焼き 動画			
代 表 者	小林 昌幸 電話 090-4810-3000			
連絡先 広報担当	小泉 清 電話 044-987-0020 FAX 044-987-0020 E-mail shirkobo@jcom.home.ne.jp			
事務局	早野聖地公園霊園事務所 電話 044-987-6120 FAX 044-986-0813			

団体名	早野聖地公園里山ボランティア
-----	----------------

活動紹介写真

1.里山再生＝伐って育てる森(里山の若返り)⇒生物多様性の向上を図る

ハンノキ林の除草 2024.10.06.



植樹＝西大島ルーテル保育園 2024.3.19.



2.炭焼き(ナラ枯れ材の活用)＝循環利用(今後炭焼きを手順を順次紹介します)

原木の詰込＝逗子開成中学・高等学校 2025.01.04.



消臭用炭の設置＝東柿生小学校2024.3.6.



3.農業体験

虹ヶ丘小学校＝苗の植付～サツマイモ掘り 2024.10.21シイタケ菌の駒打ち＝NCP早野 2024.04.13.



4.地域とのふれあい

緑化フェアに出展＝等々力緑地 2024.10.26.

生田緑地会場 2024.11.03.



第42回あさお区民まつりに出展

2024.10.13.



施設名	麻生市民館 岡上分館		活動年数	昭和 41 年 5 月～
			メンバー数	職員 5 名
活動紹介	活動場所	岡上分館、岡上地域		
	活動日	通年（年末年始、休館日を除く）		
	内容			
	麻生市民館岡上分館は、周りを町田市と横浜市に囲まれた全国的にもめずらしい飛び地にあり、大正時代は岡上分教場、昭和 22 年からは柿生小学校の岡上分校があった場所です。館内にはその歴史を紹介するパネルも掲示されており、地域の歴史とともに歩んできた施設です。今年度も、岡上地域（歴史・文化・自然など）を知り、発信する事業を行い、地域の方の学びと交流の場として親しまれています。 【令和 6 年度事業紹介】 1. 市民自主企画事業「ボッチャを通じたコミュニティづくり」 2. 市民エンパワーメント研修「迫りくる災害に備える！リアル防災講座」 3. 市民エンパワーメント研修・2「防災×健康プロジェクト」 4. 家庭・地域教育学級「思春期と向き合う保護者のためのガイド」 5. シニアの社会参加支援事業入門コース「ウクレレを弾こう！」 ※社会教育施設として「集い・語り合い・つながり合い」の部分を大切に、幅広い世代交流が行われるような講座を企画しています。 ※市民の方々が地域のことに目を向けると共に、一人一人の持てる力を引き出し、地域とつながり、学びを還元していくことができる講座づくりに努めております。			
課題	岡上分館を幅広い世代の方々に知っていただき、利用してもらうこと サークルや団体同士が交流を持ち、会の継続や発展につなげていくこと			
連絡先	分館長 相澤 悟 住所 川崎市麻生区岡上 3－15－5 電話 044-988－0268／FAX 044-986-0472			

【迫りくる災害に備える！リアル防災講座】

市民エンパワーメント研修



自主防災組織について学び、岡上小学校の防災倉庫を見学
災害時のトイレ問題は切実。非常トイレの備蓄の大切さを学びました



災害について、親子で・地域で考えるきっかけとなりました。学びを伝えることの大切さも知り、自由研究でまとめて発表したり、地元の自治会で生かす取り組みにもつながりました

【防災×健康プロジェクト】

市民エンパワーメント研修・2



日々の健康づくりが災害時に役に立つことを知り、正しい歩き方や呼吸法、また嚥下障害にならないための口の体操等も習いました。実際に災害視点でまち歩きをしたり、地域の防災訓練にも参加しました

【思春期と向き合う保護者のためのガイド】

家庭・地域教育学級

思春期の子どもを持つ保護者を対象に、デジタルリスクや性教育、部屋の片づけに関してなどテーマごとに、子どもとどのようにコミュニケーションをとるかを学ぶ講座を開催しました



【ウクレレを弾こう！】

シニアの社会参加支援事業入門コース

ウクレレ！本で、伴奏・メロディー・リズムを弾きこなすソロウクレレを学びました。講座で知り合った方同士でサークルもうまれました



【ボッチャを通じたコミュニティづくり】

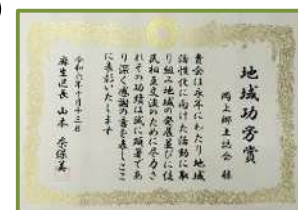
市民自主企画事業



障がいがあってもなくても、皆で楽しめるのがボッチャの魅力！

名 称	岡上分館；岡上郷土誌資料コーナー		活動年数	18 年 平成 18 年開設
紹 介	開館日	通年（第 1、第 3 月曜と年末年始を除く）		
	・旧岡上郷土誌会（会長 宮野薫、当時）では平成 18 年（2006）に岡上地区の皆様のご協力を頂き、岡上の歴史・文化を網羅した『郷土岡上』を発行しました。郷土誌会の「収集した全資料は川崎市に寄贈して一般の利用に供したい、岡上の資料は岡上の地で保存されることを願う」といった思いを岡上分館が受け止め、分館の図書室に岡上郷土誌資料コーナーが設置されました。 ・ここには岡上地区の歴史・文化調査には必須の資料類が集積されています。収集資料のまとめとして編集発行された冊子『郷土岡上』が道案内です。 ・最近の郷土誌会の活動・学習の成果も、引き続きファイルしております。 ・利用時間は午前 9 時から午後 4 時 50 分です（お問合せください）。			
連 絡 先	住所	〒215-0027 麻生区岡上 3-15-5 麻生市民館 岡上分館 2 階 図書室内		
	電話	044-988-0268		

団体名	岡上郷土誌会		活動年数	13 年
			会員数	10 人
活動紹介	活動場所	おもに麻生市民館岡上分館。テーマによっては現地		
	活動日	定例研究会は第 3 金曜日午後 1 時 30 分から		
	旧岡上郷土誌会では平成 18 年（2006）に岡上地区の歴史的な史資料を収集して、テーマ別の 100 を超えるファイルを作成しました。それらの資料の数々は岡上分館の郷土誌資料コーナーに収められ、一般に公開されています。当会はそれらの資料を引継ぎ、活用しつつ「岡上の歴史と文化、自然に親しむこと、また次世代に伝えていくこと」（会則より）を目的としております。 おもな活動 （1）岡上関連の資料類を収集・整理し、資料コーナーに追加保全する。 （2）学習会や講座などを開催し、その記録集を刊行する。 活動にあたっては、岡上分館をはじめ地元町会や学校等との協力・協働を大切にしています。			
2024 年度の活動	・ 岡上分館の取り計らいで図書室の資料庫が増え、ファイルなど探しやすくなりました。 ・ 和光大学の授業で講師を務めました。 「流域社会論」（角田先生）「地域を知ろう」（杉山先生） 学生の卒論の相談にのりました。 ・ 麻生区の地域功労賞を受賞しました。 ・ 川崎市教育委員会文化財課の調査に同席しました。 梶家保存文書、宮野薫家文書、岡上神社			
代表	梶 睦子			
連絡先	住所 〒215-0027 麻生区岡上 3-15-5 岡上分館気付 事務局電話 070-6426-6123（石井）			



団体名	和光大学・かわ道楽		活動年数	21 年
			メンバー数	12 人
活動紹介	活動場所	岡上和光山緑の保全地域とその周辺、鶴見川大正橋付近		
	活動日	毎月第3日曜日、第4日曜日		
	活動を始めた背景			
	私たち“かわ道楽”は、鶴見川源流保全活動がきっかけで始まった、和光大学周辺の自然環境を保全している学生サークルです。			
活動内容				
主に雑木林と小川の整備や、希少生物ホトケドジョウの保護・繁殖を行っています。また大学周辺の環境保全をする上で、地域の方々との交流を不可欠と考え、さまざまな地域イベント・お祭に参加させていただいています。				
さらに、私たちの活動は広がり、岡上での植生調査や水質調査に加えて、魚類調査、地域の子どもたちを対象とした自然観察会や鶴見川魚捕り体験教室も行っています。鶴見川流域ネットワーク、鶴見川源流ネットワーク、あさお流域ネットワークの活動に参加して、源流から河口まで鶴見川流域の多くの市民の方々と連携して活動しています。毎年麻生川の冬鳥調査も行っています。				
2024年度のトピックス	岡上の寺子屋事業に協力したり、三輪緑山の児童館との連携が進んだりするなど、新たな活動が増えています。			
課題	コロナ感染対策期間の新人募集活動の制限解除後、人数も増えてきたものの、まだ人数が少なく、一方で地域からの協力要請も増えて、忙しい状況です。			
参加上の案内	道楽されたい方はどーぞ！動きやすくて汚れても良いかっこうで。 ✓ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり） ✓ 寄付金などの受付中 ✓ 和光大学に入学してください 興味のある方は下記へご連絡ください。			
代表者	名前 樋田 智徳 住所 〒195-8585 町田市金井町 5-1-1 和光大学 電話 044-989-7777 内線 4311 E-mail u22e094h@wako.ac.jp			
連絡先	名前 小柳遥歌 住所 〒195-8585 町田市金井町 5-1-1 和光大学 電話 044-989-7777 内線 4311 E-mail u23p025r@wako.ac.jp ホームページなど https://www.instagram.com/wakokawa2023			

団体名	NPO 法人 かわさき自然と共生の会		活動年数	21 年
			メンバー数	約 50 人
活動紹介	活動場所	岡上梨子ノ木特別緑地保全地区とその周辺		
	活動日	毎月第2日曜日 午前 10 時から約2時間		
	活動を始めた背景			
	2000 年「岡上地区緑の保全地域の指定申出書」を川崎市長に提出し、岡上梨子ノ木緑地を清掃、整備して、2004 年に特別緑地保全地区指定実現させたことに始まります。			
	活動内容			
	(1) 緑地内遊歩道整備、下草刈り、間伐、枝打ち、植樹、いこいの広場維持、ヤマユリ植栽普及会の指導のもとヤマユリ再生。			
	(2) 周辺清掃、不法投棄防止の取組み、処理。			
	(3) 自然観察会、ワークキャンプ、研究会、感謝祭、親睦会、交流会開催・支援。			
	(4) 市民館岡上分館、こども文化センター、和光大学、小学校、幼稚園等との交流・支援。			
	(5) 地域のみどりの団体との連携。			
	(6) 行政との協働。			
	(7) 総会、理事会の開催。			
	(8) 会報『ともいき』発行。			
	その他、環境保全と周辺美化に関すること。			
				
2024 年度のトピックス	地域の若い皆さんに岡上ワークキャンプを開催していただき、また 4 回の自然観察会を開催し、カヤ原管理を行い、今年も大勢の方が参加してくださいました。今年も和光大学芸術学科のサトヤマアートサンボにも協力しました。			
課題	行政との協働。地域との協働。世代交代。			
参加上の案内	会員でない方の参加も心から歓迎しています。会員募集中。入会金 1000 円、年会費 1000 円です（作業用具代、年 1 度の懇親会、ニュース「ともいき」発行、配布などに使用）。年に 2 回のワークキャンプのみの参加も歓迎です。			
代表者	名前 堂前雅史 住所 〒195-8585 町田市金井ヶ丘 5-1-1 和光大学 電話 044-989-7777 内線 4311 E-mail dom@wako.ac.jp			
連絡先	名前 藤田昭雄 住所 〒215-0027 神奈川県川崎市麻生区岡上 6-10-24 電話 080-4066-7301 E-mail okagamitomoki@outbok.com ホームページなど			



団体名	和光大学地域連携研究センター 地域・流域共生フォーラム		活動年数	16年3ヵ月
			メンバー数	センター員7名、職員1名
活動紹介	活動場所	和光大学キャンパス、岡上地域、鶴見川流域、その他		
	活動日	オフィス開室は平日、活動日は週末も含み不定期		
	2008 年度に和光大学の取組「流域主義による地域貢献と環境教育」が文部科学省「質の高い大学教育プログラム(教育 G P)」に選定されました。この実施・推進拠点として同年、学内に設置した地域・流域共生センターを、2016 年の和光大学地域連携研究センター設立に伴い改組した学内機関が、本フォーラムです。 文部科学省『人材認証制度のニーズ及びマッチングに関する調査貢献』調査報告書(2014)でも、先進事例として紹介されています。 私たちは学内外に向けて、おおむね次の活動を行っています。 ・「地域・流域プログラム」を通じた実践的な環境教育の推進 全学の学生を対象に、本学の教育理念とカリキュラム横断型の単位取得制度を生かし、持続可能な社会の「新しい公共」を支える環境シチズンシップ教育を推進し、日本でここだけの「流域環境士」資格を認定しています。環境教育指導者養成の資格認定講習会を年に数回開催し、都市部ならではの「足もとの自然」へのまなざしと、安全に楽しく自然と交流し地域の自然の質を高める実践力を養成します。 ・「地域・流域共生フォーラム」による地域貢献と活動支援 学生と地域の住民・行政・NPO をワンストップで結ぶ拠点・窓口です。自然環境の保全や生物調査、川の掃除など学生の自主活動支援のために機材の貸し出し等を行うほか、行政等と連携して、子どもたちのための教育支援活動や自然観察会などの社会教育機会を、学生とともに地域に提供しています。			
	2024 年度のトピックス			親子自然体験学習(麻生区共済事業)や、RAC(川の指導者養成)講習会、環境教育プログラム「プロジェクト W I D」、「プロジェクト W E T」のリーダー講習会、チェーンソー・刈払い機の安全講習会を開催しました。
課題	地域・流域プログラムおよび各種資格講習会の、より効果的な広報を通じた受講拡大。流域環境士有資格者の活躍の場づくり。川の生き物観察等の野外活動については、今後も十分な感染対策を工夫しながら引き続き開催したいと考えます。			
参加上の案内	年に数回行っている各種の環境教育指導者資格認定講習会は、市民の方も受講可能な場合があります。(テキスト代実費)ご関心のある方は、地域・流域共生フォーラムのホームページやブログ記事をご参照下さるか、直接お問い合わせください。 https://www.wako.ac.jp/cooperation/research-center/region.html			
代表者	名前 岩本陽児 住所 〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1 和光大学 電話 044-949-0003 FAX 044-949-0003 E-mail centr@wako.jp			
連絡先	名前 齋藤透 住所 〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1 和光大学 電話044-949-0003 FAX 044-949-0003 E-mail centr@wako.jp			